

1. 育苗準備 田植え時期に合わせた育苗計画を立てる!!

○育苗箱・育苗資材は1,000倍に薄めたイチバン乳剤で消毒し育苗環境を整える。

【育苗日数の目安】

○てんたかく・富富富はコシヒカリより1~2日長く浸種を行う。

コシヒカリ育苗計画(例)

	浸種	催芽	播種	ハウス搬出	田植え	育苗日数
一般苗	4月8日	4月17日	4月19日	4月22日	5月10日	21日
	4月17日	4月24日	4月26日	4月29日	5月15日	19日
	4月26日	5月1日	5月3日	5月6日	5月20日	17日
密苗	4月12日	4月21日	4月23日	4月26日	5月10日	17日
	4月20日	4月27日	4月29日	5月2日	5月15日	16日
	4月29日	5月4日	5月6日	5月9日	5月20日	14日

○5月15日田植えを目安とした育苗計画を立てる

○一般苗は19日、
密苗は16日を目安に!!

※上記日数は目安です。苗の生育が進んでいる場合は田植開始日を早める。

2. 浸種 浸種は水温10~15℃を保つ!!

気象状況を確認
しましょう!!

○浸種初日の水温は**最低12.5℃**を確保し、出芽揃いをよくする。
○積算温度は105~120℃・1日を目安にする。
○浸種桶は日陰に置き、**水温が20℃以上**にならないようにする。
○水温を安定させることで芽の揃いも良くなり播種量の安定や苗の生育ムラも少なくなる。

★種子消毒薬剤の効果向上★

○浸種から3日間は水の入れ替えを行わない。
○その後の水の交換は2日に1回とし過度な水の交換を行わない。



【浸種水量】
種もみ：水
100kg 360L以上

3. 催芽 催芽温度は29~30℃!!

○蒸気育苗器で29~30℃・1日を目安に催芽する。
○芽の長さ：ハト胸~2mm程度

★催芽のポイント★

○芽出し中は種籾を時々反転させ、温度ムラをなくす。
○余熱で芽が伸びすぎないように、冷水でしっかりと芽止めを行う。

伸びすぎ
ないように!!



4. 播種 試し播きで播種量、床土量、かん水量を確認!!

○種籾が手につかない程度に乾燥してから播種する。
○育苗培土により吸水性、乾き方などが異なるため、特徴を確認して使用する。
○覆土に軽量培土を使用する際は種子が露出しないようにする。

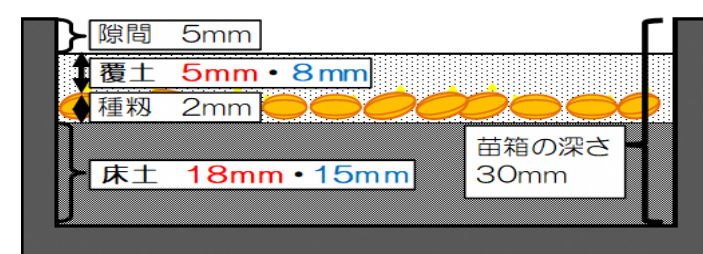
播種量の目安

栽培方法	乾籾重量	1ネット(4kg) 当たり箱枚数
一般苗	120g	33箱
密苗	250g	16箱

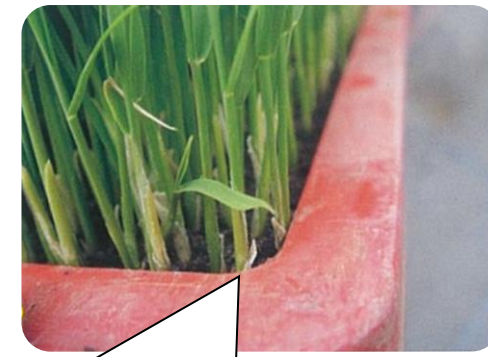
【育苗箱への培土充填イメージ】

加工床土と軽量培土で覆土と床土の厚さを調節しましょう。

赤字：加工床土 青字：軽量培土



床土と覆土を合わせて25mm程度とし、育苗箱の上面よりやや低くし、培土が十分に吸水できるようにする!

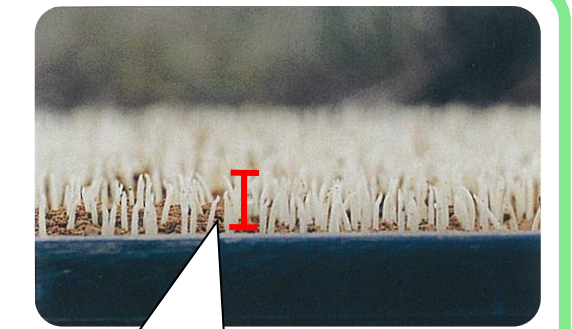


5. 出芽 出芽温度は29~30℃を厳守!!

○事前に温度計やサーモスタット等の点検を行う。
○低温時の搬出は生育不良に繋がるので控える。

★出芽時の温度管理★

出芽温度は29~30℃を厳守する。
29℃以下：出芽が遅れ、不揃いになりやすいので注意
30℃以上：細菌病やリゾープス菌が発生しやすくなるので注意



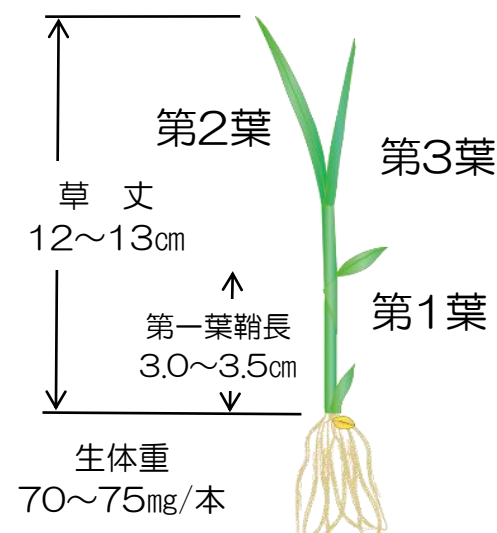
【搬出の目安】
芽の長さ約1cmを目安に搬出を行う。

6. ハウス管理 温度管理を徹底し細菌病・カビ病を予防しよう!!

【搬出前後】

○搬出直後は**ハウス内の温度を30℃以上にしない!!**
○排水不良：床面を均平にし、排水の徹底を行う。
○搬出直後は十分に灌水をして覆土を落ち着かせ水不足や覆土の浮き上がりにより苗がヤケないように注意する。

【目標とする苗の姿】



育苗期間中の温度管理の目安

生育ステージ	緑化期	硬化期
育苗日数	2~3日	9~12日
温度	昼	25℃以下
	夜	10℃以上

育苗期の病害対策

農薬名	使用回数	使用方法	使用時期	適用病害
タチカレエースM液剤	1回	土壌灌注	播種又は発芽後	ピシウム・フザリウム
ダコレート水和剤	2回以内	灌注	播種~緑化期(播種から14日まで)	リゾープス・トリコデルマ・フザリウム

※上記薬剤はもみ枯細菌病への効果はありません。



ムシ苗※ピシウム菌
育苗初期の低温や激しい気温変化育苗中の過湿



白化苗
出芽時の高温多湿や緑化期の低温で発生



リゾープス菌
出芽時の高温多湿で発生苗全体に白いカビ発生



もみ枯細菌病
高温多湿条件下で発生葉身基部が白変、地際部が褐変。

【緑化期】(搬出後2~3日)

○搬出後は強い光に当てると白化するため、被覆資材等で遮光を行い、**緑化終了後(第1葉が開く頃)は速やかに除去する。**

○緑化中は水分状態をこまめに確認し覆土が白く乾いたら適度にかん水を行う。

★ハウス内の温度管理★

30℃を超えると、軟弱徒長苗や細菌性病害が発生しやすくなるため換気を徹底し温度を下げる。
5月に入ってから育苗は特に30℃以上の高温になりやすいので、搬出直後から積極的に換気する。

高温注意

【硬化期】(搬出後13~15日)

○かん水：1日1回、早朝に行う。
○十分に換気を行い25℃以下で管理する。
○搬出後1週間頃からは著しい低温や荒天時以外は、夜間も換気を行い外気にならす。

★かん水過多★

根の伸びが悪くなるとともにカビが発生しやすくなるので注意!!

★かん水不足★

葉ヤケ等の発生に注意!!